

# 時空を越えて！和歌をもらった相手になりきって、 作者へ返歌をおくろう！

本単元で育成する資質・能力

(教科) 思考力・判断力・表現力 (学校) 主体性・コミュニケーション力

- 日時 令和6年9月25日(水) 12:30~13:20
- 学年 第3学年2組 (男子18名 女子19名 合計37名)
- 場所 本館3F 3年2組教室

## 【公開授業Ⅰ】 12:30~13:20

学年・組	教科名	単元名	指導者
1年2組	体育	器械運動(マット運動) どうすれば美しく演技できるのだろうか	久留島 沙喜
2年1組	数学	一次関数 ~身の回りにかくれている一次関数をさがせ!~	相原 美紀
2年2組	音楽	歌唱 ~美しい合唱を作り上げよう~	山下 真一
2年3組	英語	Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future 職場体験学習を通して今これからの考える	豊田 香織
3年2組	国語	君待つと一万葉・古今・新古今 和歌をもらった相手になりきって、あなたから作者へ返歌をおくろう!	椎木 咲来

## 【公開授業Ⅱ】 13:30~14:20

学年・組	教科名	単元名	指導者
1年1組	理科	身の回りの物質 シャボン玉が容器の中で浮かぶのはなぜだろうか?	内海 宏美
2年1組	体育	バスケットボール ~自分やチームの弱点はなんだろうか~	田村 慎太郎
2年2組	美術	鑑賞 ~傑作ポスターの極意を解き明かせ!~	岡野 浩樹
2年3組	社会	九州地方 九州地方の人々は、自然環境とどのように向き合い利用してきたのだろうか?	末森 太寛
3年1組	英語	Unit4 ~Guamの中学生にお勧め本やその登場人物の魅力を伝えよう~	松原 夏紀

## 4 単元について

### ○ 単元観

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年)の第3学年「C.読むこと」の指導事項「エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。」を受けて、和歌に表れた作者の思いを読み取り、和歌を受け取った人物になりきって返歌を創作することを通して、自分の考えを表現することを扱う。

ここでは、文章の内容を捉え、精査・解釈することを通して理解したことに基づいて、自分の既存の知識や様々な経験と結び付けて考えをまとめたり広げたり深めたりさせる。特に第3学年では、他者の考えと比較して共通点や相違点を明らかにしたり、一人一人の捉え方の違いやその理由などについて考えたりする中で、他者の考えの良さを感じたり、自分の考えのよさを認識したりすることで、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもたせる。『君待つと一万葉・古今・新古今』は、万葉集、古今和歌集、新古今和歌集に編纂された和歌がいくつか取り上げられている。複数の和歌を読み比べる中で、それぞれ歌集ごとにある特徴や和歌の表現方法を理解させる。現代とは異なる歴史的背景に着目させて、和歌が読まれた情景を思い描くとともに、作者の思いは美しい景色に対する感動や親子愛、恋愛などの気持ちは今を生きる私たちと同じであることに気づかせる。「五・七・五・七・七」の短い音数の中に、作者はより思いを伝えられるよう表現を工夫しながら和歌を詠んでいる。この作者の思いを読み解いた上で、その和歌に対してどのように考えるのか自分の意見を持たせることをねらいとして設定する。

○ 生徒観

本学級の生徒は、アンケートで次のように答えている。

表1 生徒アンケート 肯定的回答（令和6年度全国学力・学習状況調査の比較）

	本学級	全 国 (R.6)
①国語の勉強は好きですか	64.7%	64.3%
②国語の勉強は大切だと思いますか	88.2%	63.9%
③国語の授業の内容はよく分かりますか	91.1%	82.7%
④国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.2%	90.6%
⑤国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか	76.4%	78.4%
⑥国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか	85.2%	80.5%
⑦国語の授業で、自分の考えが伝わるように表現の効果を考えて文章を書いていますか	61.7%	76.7%
⑧国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか	79.4%	82%

①，②，③の結果から、国語の授業に意欲的に取り組んでいる生徒が多いことが分かる。普通の授業では、積極的に発言し、⑥からも分かるように、班活動などでも意見を交流する中で多角的なものごとを捉え、自身の考えを深めたりまとめたりしている様子が見られる。

⑤，⑦，⑧から、文章を読んで内容を理解し、情報を整理することや自分の考えが伝わるように文章を書くことが難しいと感じていることが分かる。令和6年度全国学力・学習状況調査の国語の結果では、「短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる」問題では、全国の正答率が48.3%であるのに対し、本校の3学年の正答率は47.1%であった。このことから、文章を読み、表現に着目して描写を読み解くことが難しいと感じている生徒が多いと考えられる。また、国語に前向きに取り組む意識がある一方、古文や漢文に対する苦手意識がある。

○ 指導観

指導に当たっては、『万葉集』，『古今和歌集』の親子愛，恋愛の和歌を取り上げ、それぞれの和歌について表現の工夫や時代背景を意識させながら鑑賞文を書いて、作者が和歌に込めた思いに触れさせる。その和歌に対して、自分が和歌をもらった相手になりきり、自分の考えが伝わるように作者に返歌を送るという活動を行う。

表1の⑤，⑦，⑧の課題を受けて、和歌の描写を基に作者が込めた思いを読みとらせるために、和歌が詠まれた背景や表現が読み手にどのような効果を与えるかをまとめる際に、個人思考に加え、班で思考させる場面を設定する。表の⑥から、話し合いによって自身の考えをまとめることができている生徒が多く、一人で内容を捉えることが難しい生徒も他の生徒の見方・考え方に触れることで、作者の思いを読みとりやすいようにする。作者に対する返歌を考える際にも、個人で考える時間を持ちながら、班での話し合い活動を行い、様々な視点から考えさせることで、自分の意見を持たせ、返歌を創作する中で表現させたい。

## 5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 （自己を認識する力、 自分の人生を選択する力）	コミュニケーション能力 （表現する力）		
レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問することができる。	
レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 tell） ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	（聴く） ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。	
レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 talk） ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	
レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、（大人の力も借りながら）自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

## 6 単元目標

- 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。 【知技 (3)イ】
- 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。 【思判表 C 読む(1)ウ】
- 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。 【思判表 C 読む(1)エ】
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うこと。 【態度】

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。  「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んで今までの学習を生かして、選んだ和歌に対する自分の考えを返歌で表そうとしている。

8 指導計画（全7時間）

教科・領域の本質的な問い

人々は何に魅力を感じて、古典を現代まで読み継いできたのだろうか。

時間	学習課題 ねらい 指導内容	重点	記録	生徒の行動・思考	評価 〔評価方法〕
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">学習課題＝万葉・古今・新古今の和歌の特徴を探れ！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ねらい＝人々が和歌に込めた思いに触れ、古典に親しむ。</div> <p>和歌集それぞれの特徴を理解し、古今和歌集の仮名序から当時の人にとって和歌とはどのようなものか考えさせる。</p>	態		<ul style="list-style-type: none"> <li>『万葉集』，『古今和歌集』，『新古今和歌集』のそれぞれの特徴を知る。</li> <li>古今和歌集の「仮名序」から、当時の人々が自分の感じたことを豊かに感じるために歌を詠み、読んだ人の心も動かしてきたことを理解する。</li> </ul>	万葉・古今・新古今を比較しながら、それぞれの特徴を知ろうとしている。
<p>単元を貫く問い</p> <p style="text-align: center;">なぜ和歌は、令和の時代まで語り継がれてきたのだろうか。</p>					
2・3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習課題＝万葉・古今・新古今に編纂されている和歌はどのような内容なのか。</div>	知		<ul style="list-style-type: none"> <li>句切れや「係り結び」，「枕詞」など和歌的な表現技法を理解する。</li> <li>それぞれの和歌の描写に着目して、どのような</li> </ul>	和歌に出てくる言葉の意味や表現を理解している。

	<p>ねらい＝和歌が詠まれた状況や歴史的背景を理解する。</p> <p>和歌の表現技法や和歌が詠まれた歴史的背景をもとに，和歌の内容や表現の効果を理解させる。</p>			内容か理解する。	
4・5	<p>学習課題＝選んだ和歌について，鑑賞文を書こう。</p> <p>ねらい＝和歌が詠まれた背景や表現技法に着目し，根拠を基に和歌を評価できる。</p> <p>和歌の背景や，表現の効果を考え，選んだ和歌にどのような良さがあるかを文章にまとめさせる。</p>	知・思	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌の表現が作者の思いを正確に伝えたり印象づけたりする上でどのような効果をあげているか評価する。</li> </ul>	和歌の内容を理解し，表現の仕方によってどのような効果があるか考える。〔記述〕
6・7	<p>【本時】（6／7）</p> <p>学習課題＝時空を越えて！和歌をもらった相手になりきって、作者へ返歌をおくろう！</p> <p>ねらい＝和歌に表れた作者の思いに対して、自分の考えを持ち、表現することができる。</p> <p>和歌に込められている作者の思いに対する自分の考えを持ち，返歌を創作する中で表現させる。</p>	思・態	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>和歌に表れたものの見方・考え方を捉える。</li> <li>和歌を送られた人の立場になり，自分ならどのように考えるか他者と話し合い，意見をまとめる。</li> <li>表現を工夫しながら，自分の考えを返歌で表現する。</li> </ul>	和歌を読んで自分の考えを作者の考えと比べたり，他者の考えと比べてたりして，自分の意見を持つ。〔記述〕

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

○和歌を送られた相手の立場に立ち，考えを広げたり深めたりして，自分の意見を持つことができる。

### (2) 本時の評価規準

○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【思判表 C読む(1)エ】

### (3) 準備物

- ・ホワイトボード

(4) 本時の流れ (6時間目/全7時間)

過程	<input type="checkbox"/> 学習活動 <input type="checkbox"/> 教師と <input type="checkbox"/> 生徒のやりとり	指導上の留意事項 (○) ・予想される生徒の反応 (・)	評価規準 [観点] ★資質・能力 【評価方法】
<b>1 課題設定 5分</b>			
導入	<p> <input type="checkbox"/>今回取り上げられている2首の和歌を音読する。            ①父母が頭かき撫で幸くあれて言ひし言葉ぜ忘れかねつる            ②思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを         </p> <p> <input type="checkbox"/>前時までに学習した内容を確認する。  <input type="checkbox"/>教師：「父母が」の歌はどのように鑑賞したかな？  <input type="checkbox"/>生徒：係助詞「ぜ(ぞ)」によって、「言葉」を強調する表現がありました。  <input type="checkbox"/>教師：「思ひつつ」ではどうだった？  <input type="checkbox"/>生徒：当時は、夢に出てきた相手が自分のことを思っているという考え方もあり、この歌では互いに思っているとも小町のみが相手に強い思いを持っているとも考えられます。         </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>学習課題</b>            時空を越えて！和歌をもらった相手になりきって、作者へ返歌をおくろう！</p> <p><b>ねらい</b>            和歌に表れた作者の思いに対して、自分の考えを持ち、表現することができる。</p> </div>	<p>○リズムや和歌に込められている作者の思いを意識しながら、音読させる。</p> <p>○学習内容を振り返ることで、本時の活動につながることを意識させる。</p> <p>○よく書けている鑑賞文をまとめ、生徒に共有する。</p>	
<b>2 自分の考えを持つ。 15分</b>			
展開・前半	<p> <input type="checkbox"/>選んだ和歌ごとにグループに分かれ、和歌に表れた作者の思いを確認する。  <input type="checkbox"/>教師和歌に表れた作者の思いを考えてみましょう。WSの作者のふきだしのところに書きましょう。箇条書きでもいいし、心の声みたいな書き方でもいいよ。         </p> <p> <input type="checkbox"/>作者が和歌を送った相手の立場に立って、どのような思いを作者に伝えたいかを個人で考える。  <input type="checkbox"/>教師今度は和歌を送られた人の立場になってみよう。あなたが作者から和歌を送られたら、どのように感じるかな？ど         </p>	<p>○鑑賞文プリントを確認しながら考えさせる。</p> <p>○箇条書き・口語体などで様々な意見を出させる。</p> <p>○①の和歌なら「父母」、②の和歌なら「小野小町が思っている相手」の立場に立って、どのように作者に返事をしたいか自分の考えを持たせる。</p> <p>・僕もあなたを恋しく思ってい</p>	

導入の工夫

	んな風に返事をしたい？WS に書きましよう。	るから、あなたの夢に現れたんだ。 ・思ってくれるのはうれしいけれど、僕の気持ちは冷めているよ。	
--	------------------------	--	--

### 3 他者の考えを聞き、自分の考えを深める。[20分]

展開・後半	<input type="checkbox"/> 個人の考えをグループで共有する。 <b>教師</b> 今度は、自分が考えたことをグループで共有しましょう。一つの意見に絞らず、色々な意見やその理由を聞きましょう。	<input type="checkbox"/> 選んだ短歌で 3～5 人のグループに分かれ、考えの共有をする。 <input type="checkbox"/> 自分の考えと他者の考えを比べて、自分の考えを深めさせる。 <input type="checkbox"/> jam ボードを使って班の意見をまとめさせる。 ・私だったら肯定的な返事を書くけど、冷たい返事をする場合も確かにあるかもね。 ・今でも愛おしい我が子の頭を撫でてあげたいと考えているんじゃないかな。	・文章を読んで、考えを広げたり深めたりして、自分の意見を持っている。 [思・判・表] ★主体性（プリント） ★コミュニケーション力（話し合い）
	<input type="checkbox"/> グループで出た意見をクラスで発表する。	<input type="checkbox"/> 班の中で、発表する人と発表を聞きに行く人に分かれて、意見を聞かせる。 <input type="checkbox"/> 同じ和歌を選んだ他のグループの意見も聞き、返歌を創作する時に生かすよう伝える。	

### 4 学習の振り返り [10分]

まとめ・終末	<input type="checkbox"/> グループで出た意見をもとに、作者への返歌を考える。  <input type="checkbox"/> 振り返りを書く。 <b>教師</b> 今回気づいたことや考えが変化したことなどを振り返りシートに書きましよう。	<input type="checkbox"/> 作者の思いに対する自分の考えが表れるように返歌を考えさせる。 <input type="checkbox"/> 次回返歌を完成させることを伝える。  <input type="checkbox"/> 自分の考えで変化したことや他者と話す中で深まったこと、気づき、単元を貫く問いについて振り返りさせる。	
--------	---	--	--

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	評価規準
B（おおむね満足できる）	和歌を読んで、作者の思いを読みとり、和歌を送られた相手の立場に立って自分の考えを持ち、作者に返歌をすることができる。
C（努力を要する）	和歌の内容は理解できているが、和歌を送られた相手の立場に立って自分の考えを持つことができていない。

ICTの活用

小グループでの活用

単元を貫く問い

(5) 板書計画

君待つと一万葉・古今・新古今  
**学習課題**  
時空を越えて！和歌をもらった相手になりきって、作者へ返歌をおくろう！  
**ねらい**  
和歌に表れた作者の思いに対して、自分の考えを持ち、表現する。

【和歌に表れた作者の思い】

【作者に伝えたい思い】

送られた相手 (あなた)

作者